

県庁舎で営巣しているハヤブサのヒナの成長について

県庁舎で営巣している県準絶滅危惧種のハヤブサについて、平成26年から8年連続でヒナの誕生が確認されました。令和3年は、4月21日（水）までに4羽のヒナが誕生しました。その後、職員が、ヒナの成長に影響を与えないように配慮しながら観察してきた様子を紹介します。

1 ヒナの成長について

- ・親鳥は、1日に何度も餌をヒナたちに与えており、ヒナたちは競い合うように親から餌をもらっています。
- ・ふ化した4羽とも順調に成長している様子です。

2 ハヤブサについて

ハヤブサ科

希少種カテゴリー：県レッドデータブック準絶滅危惧、国レッドリスト絶滅危惧Ⅱ類。
国内希少野生動植物種。

生態：海岸部の生態系の頂点に位置する鳥。県内では能登半島と加賀地方の海岸で繁殖。

3 県庁舎でのハヤブサの営巣

ハヤブサは、高所から獲物（鳥など）を探ることができる海岸近くの断崖に営巣する習性があり、県庁舎の高層階のベランダは、ハヤブサの営巣場所に適していたと考えられます。

- ・県庁舎では平成17年から産卵が確認されていたもので、平成26年に初めて繁殖に成功し、3羽のヒナが生まれ、3羽とも無事に巣立ちしました。
- ・平成27年には4羽のヒナが生まれ、4羽が、平成28年、平成29年には5羽のヒナが生まれ、全て巣立ちしています。
- ・平成30年は5羽のヒナが生まれ、3羽のヒナが巣立ちました。
- ・令和元年、令和2年は3羽のヒナが生まれ、3羽のヒナが巣立ちました。
- ・県では、繁殖成功に向け、専門家の指導を受け、ベランダに砂を敷き、また窓のブラインドを下ろし刺激しないようにするなど留意をしてきました。
- ・今回のヒナの誕生や成長、巣立ちについては、自然環境課ホームページにて紹介しています。<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/sizen/index.html>

4 取材について

ヒナの保護の観点からマスコミの現地取材は、ご遠慮下さい。

※写真及び動画データを提供します。必要な社はご連絡下さい。

（連絡先：生活環境部自然環境課 外線 076-225-1476/内線 4265）



ふ化後10日目のハヤブサのヒナ（令和3年4月28日撮影）（動画データあり）



ふ化後25日目のハヤブサのヒナ（令和3年5月13日撮影）（動画データあり）



ふ化後28日目のハヤブサのヒナ（令和3年5月16日撮影）（動画データあり）

※ふ化後の日数は、最初の卵がふ化した令和3年4月18日を0日目として計算